

# 平成30年度 事業報告

社会福祉法人景福会

2019年5月20日

# 平成30年度事業報告書

## 法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

## 4. 基本理念及び定款に定める目的

<b>基本理念</b> 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。 <b>目的</b> 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
--

## 5. 沿革

昭和52年 5月 1日	特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月16日	特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月31日	認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日	唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日	桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日	桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日	唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

## 6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 地域密着型通所介護 定員15名、元気デイ定員5名 居宅介護支援 配食サービス	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名 (通い15名、宿泊7名)

## 7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	"	H10.12.28
秋永 俊二	"	H28.11.8
寺崎 正一	"	H29.6.18
板谷 克之	"	H30.1.13
古賀 昭	監事	H6.5.29
藤島 玄稔	"	H29.6.18

## 8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

H31.4.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	(8) 21	5 <sup>(12)</sup>	18	10 <sup>(20)</sup>	39	15
看護職員	4	5	1	1	5	6
リハビリ	1	1	0		1	1
ケアマネ・相談員	6		3		9	0
栄養課職員	1		1		2	0
事務職	4		2	0	6	0
運転手・営繕その他	1	3	2	4	3	7
合計	38	14	27	15	65	29

介護職員( )内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

## 9. 財務状況

(百万円)

	29/3	30/3	31/3
サービス活動収益	531	536	539
サービス活動増減差額	▲24	▲14	▲12
経常増減差額	▲22	▲15	▲13
当期活動増減差額	▲22	▲15	▲13
減価償却費	31	28	27
補助金等積立金取崩	▲10	▲8	▲7
次期繰越収支	294	279	267
総資産	790	763	725
自己資本	675	652	633
借入金	57	45	32

## 10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

	29/3	29/3(A)	31/3(B)	(B)-(A)	
唐孔雀園	特養	309	310	309	▲0
	デイ	18	18	23	5
	ショート	10	11	13	2
	ケアプラン	2	2	2	▲0
	給食	4	6	7	2
合計	342	347	355	8	
桜花台園	特養	98	97	95	▲2
	ショート	40	41	41	0
	小規模	50	52	48	▲4
合計	188	190	184	▲6	

施設・事業別利用者推移

唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H30	2,354人	2,415人	2,307人	2,375人	2,390人	2,285人	2,431人	2,321人	2,310人	2,338人	2,048人	2,325人	27,899人
	H29	2,251人	2,462人	2,333人	2,389人	2,483人	2,357人	2,326人	2,282人	2,382人	2,432人	2,176人	2,305人	28,178人
	H28	2,372人	2,366人	2,378人	2,371人	2,463人	2,378人	2,407人	2,276人	2,400人	2,358人	2,083人	2,215人	28,067人
延数	30-29	103人	-47人	-26人	-14人	-93人	-72人	105人	39人	-72人	-94人	-128人	20人	-279人
	29-28	-121人	96人	-45人	18人	20人	-21人	-81人	6人	-18人	74人	93人	90人	111人
デイ	H30	253人	281人	279人	272人	266人	267人	271人	256人	246人	179人	185人	248人	3,003人
	H29	203人	206人	203人	197人	192人	198人	215人	194人	234人	210人	226人	263人	2,541人
	H28	231人	188人	193人	202人	205人	192人	185人	199人	204人	178人	165人	199人	2,341人
延数	30-29	50人	75人	76人	75人	74人	69人	56人	62人	12人	-31人	-41人	-15人	462人
	29-28	-28人	18人	10人	-5人	-13人	6人	30人	-5人	30人	32人	61人	64人	200人
ショート	H30	114人	76人	56人	96人	147人	78人	75人	106人	131人	122人	106人	122人	1,229人
	H29	65人	58人	48人	49人	59人	91人	103人	87人	148人	155人	97人	122人	1,082人
	H28	136人	96人	116人	108人	123人	71人	96人	16人	17人	6人	26人	45人	856人
延数	30-29	49人	18人	8人	47人	88人	-13人	-28人	19人	-17人	-33人	9人	0人	147人
	29-28	-71人	-38人	-68人	-59人	-64人	20人	7人	71人	131人	149人	71人	77人	226人
居宅	H30	17件	17件	18件	18件	17件	19件	18件	18件	17件	16件	17件	17件	209件
	H29	20件	21件	19件	20件	20件	20件	21件	21件	21件	21件	17件	19件	240件
	H28	20件	18件	20件	19件	22件	23件	22件	22件	20件	18件	18件	18件	240件
請求数	30-29	-3件	-4件	-1人	-2人	-3人	-1人	-3人	-3人	-4人	-5人	0人	-2人	-31件
	29-28	0件	3件	-1件	1件	-2件	-3件	-1件	-1件	1件	3件	-1件	1件	0件
給食	H30	1,225食	1,262食	1,447食	1,329食	1,293食	1,131食	1,306食	1,196食	1,077食	1,058食	1,013食	1,066食	14,403食
	H29	574食	677食	741食	755食	646食	653食	978食	1,068食	1,121食	964食	1,047食	1,212食	10,436食
	H28	593食	520食	580食	515食	561食	515食	544食	487食	506食	460食	419食	452食	6,152食
延食数	30-29	651食	585食	706食	574食	647食	478食	328食	128食	-44食	94食	-34食	-146食	3,967食
	29-28	-19食	157食	161食	240食	85食	138食	434食	581食	615食	504食	628食	760食	4,284食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H30	570人	604人	590人	611人	551人	543人	559人	558人	598人	620人	526人	604人	6,934人
	H29	593人	605人	592人	613人	620人	579人	589人	577人	620人	612人	548人	615人	7,163人
	H28	588人	611人	584人	606人	620人	600人	620人	600人	600人	620人	560人	617人	7,226人
延数	30-29	-23人	-1人	-2人	-2人	-69人	-36人	-30人	-19人	-22人	8人	-22人	-11人	-229人
	29-28	5人	-6人	8人	7人	0人	-21人	-31人	-23人	20人	8人	-12人	-2人	-63人
ショート	H30	274人	281人	272人	250人	281人	254人	305人	304人	298人	287人	252人	291人	3,349人
	H29	285人	296人	274人	277人	298人	287人	294人	291人	277人	251人	222人	259人	3,311人
	H28	282人	259人	265人	290人	300人	260人	256人	261人	261人	282人	257人	286人	3,259人
延数	30-29	-11人	-15人	-2人	-27人	-17人	-33人	11人	13人	21人	36人	30人	32人	38人
	29-28	3人	37人	9人	-13人	-2人	27人	38人	30人	16人	-31人	-35人	27人	52人
小規模	H30	19人	20人	20人	17人	18人	19人	20人	19人	19人	19人	20人	20人	230人
	H29	17人	16人	17人	18人	19人	19人	20人	21人	20人	21人	21人	20人	229人
	H28	18人	20人	21人	18人	17人	16人	18人	17人	17人	17人	17人	16人	212人
登録数	30-29	2人	4人	3人	-1人	-1人	0人	0人	-2人	-1人	-2人	-1人	0人	1人
	29-28	-1人	-4人	-4人	0人	2人	3人	2人	4人	3人	4人	4人	4人	17人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	6	1	2	5	2	0	0	19	80.3歳
女	5	3	10	13	18	15	13	1	78	86.3歳
計	8	9	11	15	23	17	13	1	97	85.0歳

男性 最高 92歳 最低 57歳  
女性 最高 102歳 最低 59歳

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	10	5	1	1	0	0	1	1	1	1	21
女	24	8	8	6	7	5	2	12	1	3	76
計	34	13	9	7	7	5	3	13	2	4	97

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	36	6	4	9
介助で出来る	25	36	35	7
全然出来ない	23	55	58	81
経管栄養	7			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	9	9.3%	独語	14	14.4%
大声・暴言	16	16.5%			
暴力・介護抵抗	17	17.5%			
収集癖	3	3.1%			
異食	6	6.2%			
不潔行為	9	9.3%			

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	0	0	7	5	9	21	4.1
女	2	5	16	16	37	76	4.1
計	2	5	23	21	46	97	4.1

事業実績表(法人本部・事務部門)

理事会・評議員会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
5月16日	監事監査	唐孔雀園 会議室	2名	平成29年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の監査
5月26日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 1名	平成29年度事業・決算報告・監査報告の承認 定時評議員会の招集
6月24日	評議員会	久留米市 マリターレ創世	評議員 4名 理事 2名	平成29年度決算報告・監査報告の承認 平成29年度事業報告
10月28日	理事会	招集省略 文書同意	理事 6名 監事 2名	経理規程の一部改訂 唐孔雀園事務棟の屋上防水工事について
12月7日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 2名	給与・賞与規程の一部改訂 文書管理規定の新設 30年度上期実績報告
1月19日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 6名 監事 2名	前回理事会の質問事項報告等
3月11日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事 5名 監事 2名	平成30年度補正予算 平成31年度事業計画および予算 経理規程細則の新設、評議員会の招集
3月23日	評議員会	唐孔雀園 会議室	評議員 4名 理事 2名	平成30年度補正予算 平成31年度事業計画および予算

外部研修・説明会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
5月28日	社会福祉法人 役員研修会	久留米市 えーるピア	2名	「社会福祉法改正を踏まえたこれからの 社会福祉法人の運営」 市健康福祉部による指導監査の説明
6月25日	平成30年度第1回 社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 中小企業振興 センター	1名	平成29年度の監査・実地指導状況 講演「社会福祉法人に期待すること」
7月4日	ライフレスキュー久留米 連絡会	久留米市 総合福祉セン ター	1名	平成30年度事業計画ほか
7月12日	久留米老人施設協議会 宿泊研修	香川県 丸亀市 高松市	1名	施設見学 社会福祉法人博安会 社会福祉法人守里会
8月3日	平成30年度労務管理 セミナー	福岡市 九州ビル	1名	福祉現場における労務管理上の留意点
8月27日	平成30年度第2回 社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 九州ビル	1名	「将来を見据えて今取り組むべきこと」 指導監査ガイドライン改正のポイント
8月28日	平成30年度企業経営者 人権啓発セミナー	久留米市 ホテルニューブ ラザ	1名	企業の社会的責任と人権意識
10月17日	久留米市障害者 雇用セミナー	久留米市 リサーチセン タービル	1名	久留米市内企業の取組状況
10月22日	福岡県社会福祉大会	福岡市 福岡国際 会議場	1名	記念講演「大規模災害に備えて」等
11月16日	キャリアパス 導入支援セミナー	久留米市 ビジネスプラザ	1名	キャリアパス制度の解説等
11月20日	社会福祉施設における 安全衛生管理説明会	久留米市 えーるピア	1名	働き方改革について 施設の安全衛生管理
12月21日	社会福祉法人 トップセミナー2018	福岡市 エルガーホール	1名	社会福祉施設の人材確保・育成・定着を 戦略的に考える
1月30日	社会福祉法人監事研修	春日市 クローバープラザ	1名	監事監査の基本的な考え方 と監査のチェックポイント
2月13日	第3回社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 九州ビル	1名	将来を見据え、社会福祉法人経営に 何が求められるか
2月19日	ライフレスキュー久留米 連絡会	久留米市 総合福祉セン ター	1名	事例報告他
3月19日	管理監督者のための 働き方改革セミナー	久留米市 えーるピア	1名	働き方改革関連法について
3月20日	社会福祉法人監事研修	春日市 クローバープラザ	1名	社会福祉法人制度改革を踏まえた監事 の役割・責任
3月22日	福岡県老人福祉施設 協議会総会	福岡市 九州ビル	1名	平成30年度介護報酬改定について等

## 唐孔雀園(特養・ショート)

### ■運営

#### ・全般

施設課においては、利用者様がその人らしく安心して生活を送って頂けるよう、より良い施設サービスの提供に取り組んできました。安全面においては、見守り不十分が原因での転倒・転落事故が同じ利用者様で複数回見られました。見守り強化のための人員補充や福祉用具の活用、職員の事故防止のため技術習得、意識向上とともに利用者様が普段より安心して穏やかに生活して頂けるような環境づくりに努めていきたいと思えます。

衛生面においては、今年度はインフルエンザ等の罹患者がでませんでした。今後も清掃担当職員と協力し、感染症の発生を未然に防げるように、引き続き衛生面に留意して環境整備に努めていきます。

食事については、引続き経口維持加算の取組を行い、詳細な記録、安全な介護技術の統一に努めました。今後も職員への資質の向上として再指導と園内研修により事故が起きないように取り組めます。

また、毎日の業務に追われることで、利用者様の状態把握や申し送りが不十分になることがありました。今後の課題として、利用者様一人一人に対する個別ケアの意識づけと知識、技術の向上、申し送りの徹底に努め、職員皆が情報を共有できる体系づくりを行っていく必要があります。

### ■施設サービス計画

担当者会議は、通常1年に1回開催し施設サービス計画書を作成していますが、退院後や体調不良等によりADLの低下が見られた際は、その都度会議を開催して施設サービス計画書の見直しを行っています。

また新規入所の利用者様については、暫定プランを作成し、入所後1ヶ月以内と6ヶ月後に会議を開催し、施設サービス計画書を作成しています。

### ■リハビリ

入所者の身体機能評価を行い、プログラム・目標を立案し、リハビリテーションを実施しています。

利用者の身体状態に応じて機能訓練室orベッドサイドを選択して行いました。

尚、生活相談員の依頼にてロングショート利用者のリハビリ対応しています。(H31.4.20現在:2名)。

H31.1 園内研修を行っています(移乗介助方法)。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
施術数	27.0	29.8	28.5	28.2	27.5	26.9	29.0	28.8	27.3	30.9	29.5	28.0	28.5

\*山崎PT担当フォロー者:7名

### ■ショートの利用推進

H30年度平均稼働率は48.1%、延べ利用者は1,229名でした。

年度の動きでは6月までは稼働率が22%程度で推移し、8月以降稼働率が徐々に上昇、8月に67.7%まで上昇しましたが、特養への入所等で3月は56%に留まりました。

30年度は病院のSWから直接依頼があり、病院から直接ロング利用となるケースも多く、新規の居宅支援事業所のケアマネとの情報の交換等ができ、新たな紹介にも繋がりました。

H31年度は、引き続き地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネ、病院のSW等へ連絡し新たな紹介者の依頼及び特養に入所申込みをされた方に案内する事で、利用者獲得に努めていきます。

### ■利用者・家族との関係作り

H30年度は、ご家族様の来園時や電話連絡時に日頃の様子を伝えることで、コミュニケーションを取り、ご家族様が不安にならないように配慮する事ができました。ご家族様の苦情・要望については話し合いの場を設け、内容や対策等説明しご家族様に理解していただけるように努力しました。

また、家族懇談会でご家族様の声を聴き、その声を職員同士で共有するよう努力しましたが、まだ十分とは言えず、今後も懇談会等開催しご家族様の声を反映させていきたいと思えます。

### ■入所待機者の確保

H30年度は、病院や居宅介護支援事業所からのロングステイを希望される方を多く受け入れることができたので、入所申込みも前年度よりも多く、入所申込み者も増加しました。その反面、入所の方の病院への入院や死去された方が多かったので、入所待機者数の増加には繋がりませんでした。

現在も病院や居宅支援事業所、地域包括支援センターからの紹介には積極的に受け入れ、施設見学や入所申込みに繋がっています。

### ■職員教育(研修)

H30年度は、県社協、老協主催の研修及びその他の研修には人員不足等で例年に比べ参加することが出来ず、フィードバック研修の機会も少なくなりました。

また園内研修も職員が講師となる為準備不足等により、十分時間をとった形での研修を行うことができませんでした。今後は、園外及び園内研修の内容をより充実させ、職員の資質及び技術の向上に努めます。

### ■各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

・排泄ケア委員会

H30年度は、職員の意識向上、技術向上の為年2回の講習会の内容を替え行った。今までと違った内容だった為新しい知識も身に付けられたので、今後も引き続き行っていきます。  
利用者様に合った排泄ケアを目指して、テープ止めのオムツとパットのメーカー統一を行った結果、失禁等も減り、利用者様にも快適に過ごせる環境を提供できました。  
介護者の負担も軽減できたので、引き続き利用者様に合った排泄ケアを行っていきます。

・感染症対策委員会

H30年度も感染予防の基本は、職員に周知徹底ができたのではないかと思います。感染症の流行期には都度委員会を開催し、対応策を決定し実行したことにより、インフルエンザ等の罹患者の発生はありません。但し、発熱者が多数出た際には一時的に面会制限の実施及びレク等を一部中止しました。

・事故防止対策委員会

施設を利用される利用者様及び来園されるご家族様や職員等が、事故や怪我等なく安全に過ごせるよう、定例会(月1回)で広く情報収集、対策の立案等を行ってまいりましたが、H30年度の事故発生件数は17件でした。事故原因は、見守り不十分での事故が9割を占めています。人員が少ない状況ですが、今後も工夫して見守りを行うとともに、利用者様の行動パターンを把握することで、事故防止に努めていきます。また、引き続きヒヤリハット報告書により、施設全体として安全面の強化・情報収集を行い、委員会を中心としたリスクマネジメントの体制を整備していきます。

・褥瘡対策委員会

H30年度も褥瘡予防に努めましたが、体位交換の指導が職員全員に行き届かなかった事や、利用者様の栄養状態の低下により褥瘡発生者が10名程見られました。また、同じ利用者様から何度も褥瘡が発生しましたので、H31年度もリハビリスタッフや医師・栄養士と連携し職員全員に体位交換の指導をしたり、栄養面からのサポートをしたり、褥瘡予防を第一の目標として取り組んでいきます。

・身体拘束廃止委員会

身体拘束廃止に向けて努力してきましたが、3名の方が身体拘束を行っています。(3ヶ月に1回同意書頂く)内訳は経管栄養チューブの自己抜去の為ミトン使用者2名、経管栄養チューブ等の自己抜去の為ミトン+抑制帯使用及び、体動が激しい為にベッドより転落の危険性が高い為ベッド2点柵を使用の実施者1名です。毎月1回定期的に委員会を開催し、身体拘束を行っている利用者様の状態や身体拘束の必要性について検討・見直しを行う事により、身体拘束ゼロを目指していきます。3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催し、身体拘束を行っている利用者様の状態について再度適正に行われているかを検討しています。

・接遇委員会

接遇マナーを守る事ができるように、丁寧な言葉使いや適切な身だしなみについて職員同士で注意し合いながら業務を行いました。一部の職員が利用者様に対する言葉使いが悪く、全職員が適切な言葉使いで利用者様に接する事はできませんでした。身だしなみについては、以前に比べると、良くなっています。利用者様やご家族様との信頼関係を築けない職員も見られますので、現在もご家族様の面会時に日頃の様子を話す等、積極的にコミュニケーションを取りながら、信頼関係を築いていけるように努力していきます。

・入浴ケア委員会

利用者様に対してのプライバシー配慮については問題ありませんが、日によって人員不足により、時間内に終わらせなければという意識からゆとりのある入浴介助が出来ないこともありました。入浴介助中の怪我は少なくなってきましたが、現在も人員不足の為、事故リスクは依然あるため新たな福祉用具の検討が必要と思われます。

■利用者諸表(特養) (H31年3月31日現在)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	6	1	1	6	2	0	0	19	79.7歳
女	5	3	8	11	14	10	7	0	58	85.3歳
計	8	9	9	12	20	12	7	0	77	83.11歳

男性 最高 92歳 2月 最低 57歳 4月

女性 最高 99歳 2月 最低 59歳 7月

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	9	5	1	0	0	0	1	1	1	1	19
女	18	7	4	5	5	5	2	8	1	3	58
計	27	12	5	5	5	5	3	9	2	4	77

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	29	4	3	9
介助で出来る	22	26	27	4
全然出来ない	15	47	47	64
経管栄養	7			
胃ろう	4			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	7	9.1%	独語	9	11.7%
大声・暴言	13	16.9%	幻視・幻聴	7	9.1%
暴力・介護抵抗	14	18.2%	物を破る・壊す	1	1.3%
収集癖	3	3.9%	帰宅願望	4	5.2%
異食	2	2.6%	物盗られ妄想	2	2.6%
不潔行為	5	6.5%	被害妄想	6	7.8%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	0	0	7	4	8	19	4.1
女	2	5	11	12	28	58	4
計	2	5	18	16	36	77	4

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
月2回	音楽リハビリ	利用者の7割程度がいつも参加され、非常に楽しみにされている。日頃、発語がない方も唱歌や童謡は口ずさまれている。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、お祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真で知らせることで、ご家族も喜ばれている。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
5月13日	母の日	利用者様に母の日のプレゼントとしてカーネーション・カードを渡す。
5月24日	創立41周年記念行事	式典で祝辞、祝吟・ピアノ演奏・祝舞、家族懇談会実施。
6月7日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
6月17日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラ・カードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と共に七夕飾りを作り、竹を用意し玄関ロビーと各棟に飾る。利用者様には願い事を短冊に書いて頂く。
7月29日	盆踊り大会	日中、訓練室にて盆踊り大会を行う。利用者様・ご家族様も一緒に盆踊りを踊られる。他にカラオケ・ゲーム・バザーも催しあり。
8月10日	盆供養	昨年の8月より亡くなられた利用者様の初盆の供養
9月17日	第42回敬老大会	式典では祝辞、長寿の祝いで頂いた祝状等贈呈及び米寿等の利用者様も祝う。午後、家族懇談会、祝舞・大正琴・ピアノ
10月11日	運動会	訓練室にて運動会を行う。綱引き・玉入れ等5種目の競技実施。
11月8日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
12月13日	年忘れ大会	訓練室のクリスマスツリーや飾り付けを行い、職員によるカラオケや出し物・音楽リハ・ピアノソロ。サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	理事長出席の下、式典を行う。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

■研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
5月10日・13日	新任職員研修	新任職員における職務遂行に必要な基礎知識の習得
6月13日	平成30年度集団指導	防災・防犯の充実、虐待防止について
6月27日	身体拘束廃止のリスクマネジメントセミナー	身体拘束廃止研修・身体拘束をせずに事故を防ぐ方法
7月4日	福岡県老協 主任・リーダー研修	リーダーの役割と責務
7月12日	福岡県高齢者権利擁護等推進研修	権利擁護推進員養成研修
7月19日・20日	平成30年度九州老人福祉施設職員研究大会	永年勤続表彰、研究発表会
8月9・10日	平成30年度福祉職員キャリア・パス対応生進研修課程	管理職員研修
9月27日	ライフレスキュー久留米連絡会	第1回定期連絡会
10月3日	感染症予防研修会	施設における感染症対策・実技演習



10月5日	リスクマネジメント研修	リスクマネジメントの意義とヒヤリハット分析
10月28日～12月21日	喀痰吸引研修	喀痰吸引等研修について
12月6日	施設部会	裁判例にみる介護事故における注意義務
平成31年1月18日	久留米市老人福祉施設協議会公開講演会	社会福祉法人として地域との関わり方を学ぶ
平成31年1月25日	第23回筑後地区老人福祉施設研究大会	永年勤続表彰、研究発表会
平成31年2月13日	平成30年度久留米市介護施設従業者等による高齢者虐待防止研修	利用者本位のサービスをめざして

(園内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月19日	倫理及び法令遵守について	「パワーハラスメントについて」学ぶ
4月23日 5月28日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月14日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月31日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について
7月23日	食中毒の予防・まん延防止	食中毒予防について
6月11日	感染症予防・まん延防止	感染症について
6月21日	身体拘束廃止・虐待研修	高齢者虐待について
7月9日	褥瘡のメカニズム①	褥瘡とは
7月30日	認知症ケア	認知症ケアについて
8月2日	事故の発生予防及び再発防止	介護事故の予防
9月10日	安全な入浴介助方法について	入浴介助にあたって注意したいポイント
8月20日	医療に関する教育	喀痰吸引と酸素投与
9月27日	事故の発生等の心肺蘇生について	救急救命士より心肺蘇生について、実技含む
10月4日	プライバシーの保護の取り組み	介護におけるプライバシー保護の重要性
10月18日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
11月12日	褥瘡の予防と管理②	褥瘡の予防と管理
11月16日	正しいオムツ装着②	モニター期間が始まるにあたって、正しいオムツの当て方についての実演
12月17日	インフルエンザ・ノロウイルス	冬の感染症とその予防対策について
1月17日	リハビリ	移乗介助方法について
2月12日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について
3月11日	ターミナルケア	ターミナルケアについて

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
8月25日	青峰校区夏祭り	青峰校区の子供会のおみこしが来て、利用者様と触れ合う。
10月28日	人権のつどい	明星中学校にて施設紹介と利用者様の作品展示
11月16・17日	高良内校区文化祭	利用者様の作品展示
12月2日	青峰校区文化祭	利用者の作品展示、職員もちつき参加。 文化祭当日、利用者様は職員と共に見学する。
3月11日	第3回介護予防教室	久留米南部保健センターより『いきいき健康づくり』

## 唐孔雀園(デイサービスセンター)

### ■基本方針

#### 全般

- 1 利用者の慣れ親しんだ地域で、健康体操、ケアビクス、音楽リハビリ、毎日の体操・口腔体操等で、身体機能の維持・向上を図り、生き生きと充実した在宅生活ができるように支援した。
- 2 利用者個々のニーズ、心身の状態等に対応した安全で質の高いサービスで事故防止に努めた。
- 3 久留米市、地域包括支援センター、利用者の担当医、地域の社会福祉協議会、コミュニティセンター、老人会等との緊密な連携に努め、地域行事にも積極的に参加し、地域福祉の拠点として地域に貢献した。

#### 重点項目

- 1 利用者に対して、尊敬と敬愛の気持ちで接し、常に感謝の気持ちと明るい笑顔で心安らぐ対応に努めた。
- 2 利用者の、地域密着型通所介護計画書等のサービス計画書に基づき、介護・看護等を実施し、利用者の残存能力を生活の場で継続的に発揮できるように支援した。
- 3 地域密着型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業所として、地域の諸行事に参加し地域の皆さんと深耕を図り、あらゆる機会を通じて1日体験利用等の施設の情宣活動を行うとともに、年2回開催の運営推進会議の参加者からの、施設に対する評価・意見・要望・提案・助言に対して、改善すべきものは、速やかな改善を図った。
- 4 諸行事のマナー化を防止するために、利用者の意見も取り入れながら、四季を通して、季節を感じられる行事を実施し、魅力ある充実した行事に取り組んだ。
- 5 通所介護部会セミナー、講演会等の外部研修への積極的な参加と、毎月の定例会で、職員講師による内部研修を実施し、職員のスキルアップに努めた。

### ■平成30年度年間利用者数計画・実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
30年 計画	延人数	225	270	260	260	297	275	297	312	312	312	288	313	3,421
	1日平均	9.0	10.0	10.0	10.0	11.0	11.0	11.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	11.0
30年 実績	延人数	253	281	279	272	266	267	271	256	246	179	185	248	3,003
	1日平均	10.1	10.4	10.7	10.5	9.9	10.7	10.4	9.9	9.5	8.1	7.7	9.5	9.8

### ■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月	青峰校区子供会	子供神輿が来園、利用者子供さんたちとの深耕が図られた。
12月	青峰校区文化祭	利用者のはり絵、書道、手芸品等を展示した。

### ■主な行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月	お花見	さくら見学 竜王寺公園 (16名参加)
5月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦 (16名参加)
6月	お花見	紫陽花見学(雨天中止)⇒道の駅くるめ(9名参加)
7月	そうめん流し	竹を使い、本格的なそうめん流し (延30名参加)
8月	夏祭り	屋台を作り、ゲーム、かき氷等でお祭り気分を味わう (延33名参加)
9月	敬老会	職員による演芸等で敬老の日を祝う (11名参加)
10月	運動会	利用者様と職員合同で紅白に分かれての運動会 (14名参加)
11月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦 (11名参加)
12月	年末お楽しみ会	クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り (延19名参加)
1月	初詣	七木地藏尊 (延24名参加)
2月	節分	豆まき (延17名参加)、梅林寺梅花見学 (延13名参加)
3月	お花見	さくら見学 竜王寺公園 (12名参加)

#### 毎月実施

- ・音楽リハビリ、ケアビクス、誕生会、お買物、健康体操、おやつ教室、創作教室、書道教室等を実施。

## 唐孔雀園(ケアマネジメント課)

### ■運 営

全般

高齢者の皆様が、介護が必要となられた状態でも、住み慣れた地域及び自宅で、生活が継続できるように、介護保険サービスを中心に支援を行い、在宅介護の継続に努めました。

しかし、核家族化に伴い、独り暮らし・高齢者世帯の方々が多くなり、介護保険サービスが中心となられているため、介護面の不足が生じやすく、居住系サービス(有料老人ホーム・グループホーム等)へ早期の入居が多くなっています。但し、費用負担が大きいため、特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型施設への紹介・調整のニーズが非常に高い状況です。また、平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が実施されていますが、要支援者の方(通所型・訪問型の利用者)へのサービス量の減少が生じています。その為、インフォーマルサービス(公民館活動・社協サービス・ボランティア)で補いながら、地域への社会参加につながるよう支援を致目標に対する実績

久留米市介護福祉サービス事業者協議会・久留米市地域包括支援センター・久留米市役所(長寿支援課・介護保険課・生活支援課等)との連携を図りながら、介護保険サービス及び高齢者福祉サービスを活用して、利用者への居宅介護支援業務を適切に行えました。また、困難ケースについては各機関と調整を行い実施しました。さらに、国が推奨している、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療機関との連携を密に行うことで、利用者の円滑な入退院の実施につながった。

取り組み事項の成果

地域の皆様へ、介護保険及び高齢者福祉サービスの理解を深めて頂くために、当法人における介護 予防教室の実施及び久留米市介護福祉サービス事業者協議会(副部会長)の役割を果たしながら、在宅介護の支援を実施することが出来ました。

また、平成30年度介護報酬改定等に伴い、居宅介護支援事業者への管理者要件変更があり主任ケアマネのみとされました。(経過措置:3年有り)その為、6月から9月にかけて(12日間)の研修に参加し、取得致しました。今後、当法人及び利用者の皆様に還元できるように支援致します

### ■主な研修実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月19日	唐孔雀園 園内研修 (倫理研修)	講師:唐孔雀園 事業部長 古賀 「パワーハラスメントについて」
5月31日	平成30年度 福岡県集団指導	講師:久留米市役所 介護保険課 「平成30年度 居宅介護支援業務についての留意点」
6月1日	唐孔雀園 園内研修 (認知症研修)	講師:唐孔雀園 認知症介護指導者 桑野氏 「認知症高齢者の自動車運転を考える」
9月21日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師:つばさケアプランサービス 富田氏 「災害対策について考えよう」
10月12日	久留米市地域包括支援セン ター 主催	講師:久留米南地域包括支援センター 平川氏 「南包括圏域介護予防推進に向けて」
2月13日	久留米市役所 長寿支援課	講師:日本女子大学 久田教授 「平成30年度 久留米市高齢者虐待防止研修」

## 桜花台園(特養・ショート)

### ■運営

#### 【特養】

- ①年間2回(9月、2月)入所検討委員会を開催し、待機者は21名(前年比▲4)、22名(前年比±0)でした。例年は9、3月の2回の入所判定会議ですが、待機者の状態・生活環境の変化に応じて開始日を調整し円滑な入所を可能とするようにしてきました。
- ②昨年度の入院者数4名に対して今年度は入院者数10名となっている。入院者数の増加については、入所時点で空所期間中、ショートステイの空床利用で稼働維持を図りましたが、前年に比べ稼働率が低下しました。医療的ニーズが高いご利用者や高齢者(100歳近い)方の受け入れている為入院するリスクも必然と高まり入院による空床も増加しました。又、体制等の事情により施設での看取りができるケースが減少し入院する事が増加しています。施設で看取りを行う際は看取り期間中に次の待機者を確認し、看取り者が退所した際には、新規の入所者を迅速に受け入れるように努めていますが、入院となった場合は次の受け入れに時間を要することが多いです。可能な限り、ご家族の要望に添い、看取りを継続して行い、空床がある時はショートステイとしての利用を継続してきました。
- ③30年度平均利用介護度は4.3~4.4、経管栄養のご利用者は現在2名、ストーマの方も2名です。
- ④家族会を5月に開催し、今回は配食のお弁当を食べながら交流を図り、コンサートも行いました。
- ⑤広報誌は年間3回の計画が2回に留まりましたが、ご家族へ日頃の様子をお伝えする事ができました。

### ■ケア

#### 【特養】

- ①年間3~4回計画していた全体ミーティングは1回しか実施できませんでしたが、情報共有のため連絡ノートの活用、安全衛生委員会、定例会での資料、ユニットでのミニミーティングで行いました。
- ②居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い、清潔保持に努めました。
- ③経口維持加算算定のため食事ラウンド・経口カンファレンスを開催。経口維持と日々のケアを連動させるためケアプランに経口維持の内容を追記しました。
- ④入所者の趣味嗜好などを探り、脳トレ(計算・漢字ドリル、間違え探し)硬筆等の学習療法を提供しました。
- ⑤個別機能訓練対象者が3名(前年比▲3)となりました。介護度の上昇により歩行、立位訓練等が困難となるご利用者が増加し個別に屋外の散歩等にお連れするなど新たなニーズに対応する事に努めました。
- ⑥新人教育は感染について(看護)、ユニットリーダーを中心に業務の流れや、ケア内容を指導しました。1ヶ月、3ヶ月ごとに面談し、現在の進捗状況を確認、困った事や悩みなどを聞く時間をもうける事でコミュニケーションを図りました。又、ユニットごとの1日のケアマニュアルを作成し、入退所が発生する毎に更新する事ができました。
- ⑦入院中のご利用者の状況把握と退院時のカンファレンス参加でご利用者に負担がないように努めると共に介護スタッフに入院時の生活状況を伝える事で適切なケアを実行できました。
- ⑧H30年度は1名の看取りを行い内1名を看取り加算を算定した。看取り指針に沿い、ご家族、入所者の心身の負担緩和に努め、医師、看護師、ケアマネ、介護士が連動しチームケアを実施できました。
- ⑨ご利用者の苦情や要望に対してミーティングを開催し今後の対策、ケアの内容を変更することでご利用及びご家族へ適切に対処する事に努めました。

#### 【ショート】

- ①医療ニーズが多様化し夜間の緊急時対応に備え、主治医の夜間対応状況及びご家族の連絡体制表を作成し夜勤者、看護師が緊急時に迅速に対応できるように努めました。
- ②日々のご利用者の状態変化や業務上の伝達事項等を行小まめに行い、情報の共有に努めた。ミーティングを開催できなかったため来年度は2回程度予定しケアの統一を図ります。
- ③徘徊などの初めて宿泊する事に対して不穏や拒否反応が出現されるご利用者の受け入れもご家族と同意、協力の下短い時間、日数から受け入れを行う事で幅広く受け入れを行った。
- ④リハビリは生活リハ中心でしたが、1階の平行棒を活用し歩行、立位訓練を個別に実施しました。1日、1回の健康体操(ラジオ、リハビリ、タオル)で心身を早口言葉で嚙下のリハビリにも努めました。又、リハビリへの要望、ニーズが高いご利用者が増え可能な限り個別に対応しています。
- ⑤体調変化のサインを見逃さず看護、介護、ケアマネの連携を図り、速やかに家族へ報告、医療機関受診を家族へ依頼または受診介助し早期対応を心掛けました。
- ⑥ご利用者毎のADL表を作成し新人職員やヘルプスタッフでもご利用者の状態を把握し、統一したケアにあたる事ができるようにしました。
- ⑦物品チェックを確実に入所前、入所後に実施し、物品紛失がないようにしました。紛失防止への意識を高め、忘れ物が無いように努めました。
- ⑧外出行事を年間5回(前年比+2)実施、園内では2ヶ月に1回バイキングを実施する事で桜花台園での生活について『満足度』を上げられるように努力しました。
- ⑨月次稼働率の目標を90%としていましたが、それを下回る月が2ヶ月のみと年間を通して安定した稼働を保つ事ができました。年間利用者数は255人(前年比+30)、うち新規利用者数は29人(前年比+16)と大幅に増加し、延利用者数は延べ利用日数3,349人(前年比+38)となりました。要介護度の年間平均は2.9と(前年度2.9)変わりはありませんでした。居宅支援事業所との関係を密に持ち、今年度は26事業所(前年比+6)からショートステイ利用の依頼を受け稼働率向上に繋がりました。

\*実際にはご相談頂いた事業所は26事業所以上ですが満床の為受け入れが出来なかったケースもあります。

- ⑩昨年度は2名のインフルエンザ発症者がいましたが今年度は1名の発症者も出ませんでした。  
 ⑪広報誌の作成を年2回予定していた通り発行し、ご家族へ少しでも桜花台園での様子を伝える事ができました。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男				1	1				2	86.5歳
女			2	2	5	4	3	2	18	89.5歳
計			2	3	6	4	3	2		89.1歳

男性 最高 87歳 最低 84歳  
 女性 最高 102歳 最低 78歳

在所期間

(単位:20名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	1			1					2
女	6	1	4	1	2			4	18
計	7	1	4	2	2	0	0	4	20

ADL調査表

(単位:20名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	7	2	1	0
介助で出来る	3	10	8	3
全然出来ない	8	8	11	17
経管栄養	0			
胃ろう	2			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位:名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	2	10.0%	独語	5	25.0%
大声・暴言	3	15.0%			
暴力・介護抵抗	3	15.0%			
収集癖	0	0.0%			
異食	4	20.0%			
不潔行為	4	20.0%			

要介護度状況

(単位:名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男				1	1	2	4.5
女			5	4	9	18	4.2
計			5	5	10	20	4.3

\*31年3月末現在の数値で利用介護度とは相違

小規模

■運営

- ①30年度4月は登録19名でスタートし、年間通して17～20名となりH31年3月は20名で終わりました。年間の利用者数は230人(前年比+11)と増加しています。年間の平均介護度は2.6(前年度2.7)若干低下しています。要支援の登録が増加している事が影響しています。要支援者年間利用者数53人(前年比+16名)新規依頼、相談は南包括支援センターが最も多く、医療機関(特に医療センター)、居宅事業所からの変更依頼やご家族からの直接の相談がありました。H29年度から30年度も南包括支援センターと共同で青峰高良内の介護フェスタを開催し、関係性が構築され小規模の相談を多く頂いています。
- ②営業活動として年間3～4回の活動を予定していましたが、医療機関への営業は1回のみとなりました。31年度は年間2回を予定し医療機関及び居宅介護支援事業等を回りたいと考えます。
- ③延べ利用者は6,612名(前年比▲330)、内訳 訪問973(+180)、通所4,066(▲114)、宿泊1,573(▲396)訪問の延べ回数が増加し、宿泊の延べ日数が減少しました。

■ケア

【医療】

- ①H29年度は看取りのなる対象の方はいませんが30年度は3月18日～4月25日まで看取りの期間として1名対象者がいました。体制上の都合で訪問看護を医療保険で導入し、安やかな看取りを行う事ができました。
- ②ロングステイ利用の方が常時3～4名で定期診療も増加、看護師を中心に主治医、薬剤師と連携し状況報告しながら体調に応じて往診を依頼し体調管理に努めました。
- ③血圧が高いご利用者のコントロールを医療機関や医療デイサービスと調整する事や排便コントロールをご家族と情報共有し確認してきました。

【訪問】

①独居のご利用者の増加に共いない訪問回数も増加し前年比で+180回の973回となりました。H29年度が153回と考えるとかなりの増加と言えます。訪問内容は主にバイタルチェック、服薬管理・確認や安否確認、衣類交換(離床介助等)、買物、通院介助を行っています。

【リハビリ】

①リハビリに関しては前年度の大きな変化はなく生活リハと全体の体操を主にサービスを提供してきました。脳トレはホワイトボードを使用した全体で行う取り組み(しりとり、日本の県、数字遊び等)と個別で取り組むプリント(計算・漢字ドリル、間違え探し、点繋ぎ等)を提供しています。  
 ②専門職(PT・OT)が在籍していないため、介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用してADLの維持に努めました。  
 高齢者向きの健康、リハビリ体操を1日2回と研修で学んだシナプソロジーを行い、身体と頭の活性化に働きかけました。  
 全体の体操としてタオル、リハビリ体操を実施してきましたが、新たに足元気体操やごぼう先生の毎日10分の健康椅子体操などを取り入れ下肢の筋力の維持に努めてきました。

【家族会】

H30年度は家族会を実施できていませんでした。家族間の繋がり、普段話すことができない相談事や雑談時間を事ができるので来年度は1回実施していきたいと思えます。

【広報】

年間4回の広報誌発行をよていしていましたが3回となりました。主に外出行事で楽しまれている姿やおやつ作り、誕生会の様子・新人スタッフの紹介等を掲載しました。

【行事】

行事の内容は外食:スシロー、百年公園のつつじ祭り、広川町の街カフェでの軽食や石橋文化センターのバラフェアー等に出かける事ができた。今年度は特に園内行事に特に力を入れ、軽食づくり(パフェ、おはぎ等)、忘年会(手作りパスタ、ケーキ等)で楽しんで頂く事ができました。

看護

1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、嘱託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化の回避を目指しました。

①他院受診状況

内科16回(8名)、整形外科17回(6名)、フットケア1回(1名)、眼科21回(3名)  
 耳鼻咽喉科4回(2名)、皮膚科5回(3名)泌尿器科4回(3名)  
 乳腺外科2回(1名)、肛門科1回(1名)

入居者の高齢化に伴い、乳がん術後、皮膚癌術後、胃瘻交換、ペースメーカー管理定期的に専門医のフォローが必要なご利用者様が増加しています。又、今年度は眼科受信増加が目立った。

②博愛病院院長、嘱託医等の往診27回、回診46回

③博愛病院胸写:入所時3名、定期18名、肺炎疑い等6名

④入院10名 延べ397日(特養のみ)

今年度はお一人で長期間入院される事例が目立ち、入院日数が昨年と比べて大幅に増加した

⑤救急搬送 特養6名、ショート1、小規模0名

内訳は口腔内の外科処置、痙攣、(完全房室ブロックにより一時的な心停止の可能性)

傍ストーマヘルニアイレウス、誤嚥によるSPO2低下、胆のう炎による発熱、高心拍出心不全ショック  
 右大腿骨転子部骨折、低カリウム血症各1名であった。

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況

特養	救急搬送	3
	医師への報告	3
	看護師の対応	4
ショート	救急搬送	1
	医師への報告	1
	看護師の対応	1
小規模	救急搬送	0
	医師への報告	1
	看護師の対応	1

生成30年度より夜間はショートステイ、小規模多機能に関しては各主治医の指示に従い連絡がとれない時は家族に意向を確認し、家族の対応と改めたがショートステイ、小規模多機能ともに特に大きな問題もなく対応出来た。特養に関しても夜間の医師、看護師の対応件数は減少している。

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダード プリコーション	手指消毒 環境整備	熱中症	食中毒	疥癬	結核
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ	ノロウイルス (ラウンド)	誤嚥性肺炎 ノロウイルス(ラウンド)	レジオネラ症	腸管出血性 大腸菌感染症	安全な職場環境

4 褥瘡対策

介護職員向けに年2回に褥瘡対策勉強会を実施  
今年度褥瘡形成者2名、全員治癒し現在褥瘡者なし(特養のみ)

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明する  
・介護職員向けに年3回、看取りの学習会実施(看取り介護の指針について、死後のケア、処置技術等)  
特養退所者 4名 うち3名は入院による退所。うち死亡による退所は1名

6 喀痰吸引について

認定を受けた特養介護職員向けに痰の吸引手技確認、心肺蘇生訓練(年1回実施)  
吸引該当者がいない為1回のみ実施で終了する

7 緊急時対応

窒息時の対応訓練を各事業所で延べ4回ラウンドにより実施。

夜間緊急時の対応 年1回実施

送迎、訪問時等 異常発見時の対応 年1回実施

8 嘔吐者発生時(ノロウイルス感染疑い時)のラウンドによる演習 年1回実施

9 インフルエンザ感染発生の原因と対策 (山崎博先生の講義 年1回実施)

# 新入職員研修

新入職員入職時に感染対策について実施(3名)

新入職員が当直開始の際夜間緊急時の対応について実施(3名)

11 感染症罹患患者

H30年度はインフルエンザ感染症が全国的に大流行した。

桜花台園では職員1名の罹患患者発生のであった。

ノロウイルス感染の発生は職員、ご利用者ともになかった。

来年度も事前研修を実施し、感染予防と万一発生した時の感染拡大防止を目指したい

■行事実績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
4月9日	慰問:合唱	慰問 明善OB「合唱団虹」
4月3, 6日	外出行事:小規模17名	桜子園での花見、お弁当
4月10, 14, 16日	外出行事:小規模・17名	つばき園見学(10日) サンリブ買い物ツアー(14日) 百年公園つつじ祭り(16日)
4月19日	外出行事:特養・4名	石橋文化センター散策
5月9,10,19日	外出行事:小規模・15名	広川町カフェ
5月11日	外出行事:ショート9名	石橋文化センター 薔薇フェア
6月8,12,15日	外食行事:小規模 14名	8,12日 外食(回転ずし) 15日 外食(ラーメン)
6月19日	外出行事:ショート9名	広川町カフェ
7月17,20日	おやつ作り;小規模	17日 パフェ 20日 クレープ
7月17日	外食行事:特養 4名	ジョイフルにて昼食
8月8日	施設見学	高良内校区女性料理学級会員の方々施設案内及び施設説明
9月8日	敬老会	式典、詩吟等
9月14日	久留米市副市長来園	長寿の祝辞等
9月17,25日	おやつ作り;小規模	利用者と一緒に団子づくり
10月15日	外出行事:ショート7名	北野キリンビール工場 コスモス鑑賞
10月19日	お取り寄せ(昼食)3名	どんどん亭にお好み焼きを注文
10月25,29 11月7日	外食行事:小規模 15名	石橋文化センター 薔薇フェア
12月14日	Xmas会	フラダンス、ハンドベル、プレゼント配布
12月17日	小規模忘年会	手作りパスタ、ケーキ
1月1日	新年祝賀式典	新年の挨拶、国歌斉唱
1月15日	初詣:ショート 8名	七木地蔵
1月11,16日	初詣:小規模	高良山、七木地蔵
3月22日	お取り寄せ(昼食)4名	お好み焼きやから揚げ、ポテトを出前で注文しユニットで食べる
3月26,29日	花見:ショート・小規模	桜公園にてお弁当

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
9回	バイキング(小規模・ショート) *特養は 4回参加	季節に合わせたバイキング形式の昼食
6回	散髪	訪問散髪
8回	横山先生の音楽リハビリ	音楽に合わせたリハビリ、合唱

■ 研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
5月19日	定期総会:3名	H30年度事業報告、29年度事業計画・役員改選
5月29日	介護職員研修:1名	口腔ケアの理解と実践
6月2日	特養:ショート家族交流会	① 家族、スタッフ紹介② 運営報告③ 昼食、コンサート
6月22日	小規模部会研修:1名	小規模多機能における看護業務等
6月27日	身体拘束研修	身体拘束廃止規定についての知識 身体拘束をしない事故防止 不適切なケアをなくす現場の取り組み
7月5日	いきいきサロン参加:2名	川原地区10:00~11:00 八枝地区14:00~14:30 にて事業所紹介
7月19日	施設部会研修:1名	『信頼される介護現場接遇マナー』
7月19日	介護施設看取り研修会:1名	介護施設における看取り支援
8月10日	在宅医療と介護連携推進における 介護福祉サービス関係者会議につ いて:1名	・入退院連携状況調査報告 ・グループワーク
9月5日	入所判定会議	特養の順位を決める会議
9月10日	事業所更新現地確認	10:00~12:00 特養、ショート 13:00~15:00 小規模
10月22日	避難訓練	年2回の訓練 日中想定
10月3日	高齢者施設における感染症予 防研修会:1名	施設における感染症対策・実演 結核の現状と予防対策につ いて
11月11日	あったかホームコンサート 1名	バイオリン演奏 認知症カフェ 表彰
11月27日	南圏域多職種連携から高齢者虐待 の予防と早期発見を考える検討会:1 名	グループワーク
12月15日	南圏域介護フェスタ	座談会、栄養教室、体力測定、高齢者疑似体験、 脳年齢テスト、経口補水液等
1月18日	老協協公開講演会	「生き・生き・元気なまちづくりをすすめる為の3つのポイント」 講師:ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏
2月11日	認知症介護予防フェスタ	第1部認知症声かけ体験 第2部座談会
2月12日	高齢者虐待防止研修	人とチームで育てる現場を変えるリーダーの心得 介護現場でぶれない上司・先輩を目指す久田流
3月18日	避難訓練	年2回の訓練 夜間想定
3月14日	ケアプランチェック研修	適正なケアプラン作成等

■ 研修実績(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
4月19日	認知症研修	認知症への理解
5月17日	事故防止対策研修	リスクマネジメントについて
5月17日	感染予防について	山崎 博Drの講演
5月23日	倫理研修	ハラスメント研修
6月14日	医療的研修	熱中症について
6月23日	介護研修	口腔ケアについて
7月12日	食中毒について	食中毒予防について
8月16日	身体拘束研修	身体拘束廃止のリスクマネジメントについて



8月22日	看取り研修	看取りケアについて
9月20日	腰痛予防研修	腰痛予防への取り組み
10月24日	事故防止対策研修	老人福祉施設におけるリスクマネジメント
11月12日	園内研修(外部講師)	ダスキンによる感染研修 発生時対応実演有り 講習
11月17日	感染予防について	ノロウイルス予防
11月19日	園内研修(職員講師)	感染研修、発生時対応実演講習
11月26日	介護研修	入浴ケアについて
12月20日	誤嚥について	誤嚥事故の予防、原因
12月26日	緊急時対応について	夜間緊急時対応マニュアルに沿って
1月24日	介護研修	腰を痛めない介護、看護
2月21日	感染予防について	腸管出血性大腸菌感染症
2月28日	虐待研修	高齢者の虐待について
3月18日	接遇について	事例に基づく
3月24日	褥瘡研修	褥瘡予防について

#### ■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月20日	介護予防教室	『体力測定と栄養指導』
8月11日	高良内校区夏祭り:4名	「よかつさい」祭りに参加
8月25日	青峰校区夏祭り	出店、栄養週間のサンプルや資料配布。
9月4日	保育園との交流会	ニュータウン保育園児による合唱、演劇等
9月15日	高良内校区敬老会:4名	式典、その他
9月24日	青峰校区子供会	ダンス披露
10月5日	第1回 高良内小学校交流会	施設見学、ホールでの交流会
10月31日	第1回 青峰小学校交流会	施設見学、ホールでの交流会
11月17日	高良内校区文化祭作品展示	利用者の手作りの貼り絵、小物作品を展示
10月28日	明星中学校人権のつどい	作品展示
11月29日	第2回 青峰小学校交流会	グループに分かれての交流
11月14日	第2回 介護予防教室:30名	シナプソロジー
12月2日	青峰校区文化祭	作品展示・餅つき
12月7日	第2回 高良内小学校交流会	ホールでの交流会
3月11日	介護予防教室:36名	「いきいき健康づくり」

## 唐孔雀園、桜花台園(栄養・地域配食)

### ■運営

#### ・年間栄養課目標

- ①栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ②常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。
- ③桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングの実施(隔月)。

#### 結果

- ①唐孔雀園は毎週木曜日、桜花台園は1回/月に栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務、委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常に利用者様の状態にあった食事を提供できるように、摂取量・水分量・体重変動・皮膚状態嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。継続して経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥のあるリスクの高い方に対し、唐孔雀園では第1、第3月曜日の11時からラウンド、14時から会議を行いました。唐孔雀園では、新加算の「低栄養リスク改加算」の算定に多職種で取り組みました。桜花台園では第2火曜日の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心、安全に経口摂取し頂けるよう多職種で意見を出し合い対応しました。
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、予定通り開催

#### ・施設目標

- ①栄養ケア計画の充実
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキング開催。

#### 結果

- ①前述した栄養カンファレンスにより、1人1人に細やかな対応をとることができました。
- ②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、担当職員と打ち合わせを行い、利用者様にも直接リクエスト等を聞きながら献立を考え、食事の提供を行いました。バイキングは特養の常食ご利用者様もショートステイのご利用者様と一緒に参加されています。ご利用者様からも好評なため今年度も引き続き行って行きたいと思っております。

#### ・配食サービスの目標

配達総数は前年度10,436食、30年度14,403食でした。  
数の増加は推移していますが、利益につながっていません。  
現在、対策検討中です。

#### ・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度は以下の計画を実施しました。

##### ①料理教室

東国分公民館	離乳食・乳幼児期おやつ教室(10/2)
第七町内公民館	スタミナ料理(7/25)
	コツコツ健骨料理(9/26)
	おせち料理をリメイク(12/12)・60歳からの健康寿命をのばす食事(1/23)
高良内公民館	夏バテ対策簡単料理(6/20)
	おせち料理をリメイク(12/19)

##### ②介護予防教室

リハビリ栄養教室 (7/20)

##### ③「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識づけを兼ねて、ランチョンマットを作成し、ディスプレイにて食事の提供を行いました。

### ■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

■行事实績

実施時期	行事名	内容・成果
5月5日	子供の日	鯉のぼり ねりきりを提供
5月21日	開園記念祝膳	赤飯・紅白饅頭等の祝膳を提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・鯛蒲焼缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月18日	敬老膳	ランチョンマット作成。赤飯、ぶりの照り焼き、5色煮、紅白なます、果物、茶碗蒸し、お吸い物、まんじゅう
10月31日	ハロウィン	かぼちゃポーロを提供
12月24日	クリスマス膳	パエリア、ミートローフ・コロッケ盛り合わせ、3色サラダ、クリスマスケーキ、ポタージュスープ
1月1日	おせち	昼・夕おせちを提供
2月14日	バレンタインデー	チョコプリンを提供
3月3日	ひな祭り	散らし寿司、めびなまんじゅうを提供

小規模多機能 バイキング

実施時期	内容
6月26日	ゆかりおにぎり、お好み焼き、具(キャベツ、もやし、葱、豚肉、むきえび、長芋とろろ、チーズ) 竜田揚げ、コーンサラダ、サイダー、アイスクリーム、ロールケーキ
8月20日	流しそうめん、炊き込みおにぎり、ゆず和え、天ぷら(えび、かに)、フルーツ盛り合わせ ブルーベリーケーキ、カルピス
12月25日	カレー、トッピング(チキンカツ、から揚げ、あさりバター、南瓜、チーズ、漬物) 手作りナン、生サラダ、チョコバナボア、ワカメスープ、サイダー
2月22日	おにぎり、焼き肉(牛、豚バラ、鶏、ウインナー、野菜)、春菊の和え物、キムチ、ワカメスープ、ブチケーキ、OOLEMON

ショートステイ バイキング

実施時期	内容
5月23日	中華おこわ風、ラーメン風(塩、とんこつ)、具(もやし、焼き豚、ほうれん草、白葱、煮卵、紅生姜)、サウザン和え、ぎょうざ、マンゴープリン、カルピス
7月31日	ゆかりおにぎり、お好み焼き、具(キャベツ、もやし、葱、豚肉、むきえび、長芋とろろ、チーズ) 竜田揚げ、ピーナツ和え、サイダー、アイスクリーム、タルト
11月16日	カレー、トッピング(チキンカツ、から揚げ、あさりバター、かぼちゃ、チーズ) 漬物、手作りナン、生野菜サラダ、チョコバナボア、コンソメスープ、サイダー
1月22日	ミニ寿司(穴子、厚焼き卵、えび、いなり)、おでん(はんぺん、ちくわ、卵、こんにゃく、つみれ) わさび和え、チキンナゲット、ゼリー、梅ソーダ

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
6月22日	特定給食施設研修会	平成29年度巡回指導及び栄養報告書結果報告、平成30年度巡回指導方針
2月27日	特定給食施設研修会	医療法人松風海の関連施設における取組事例
3月14日	臨地実習連絡協議会	栄養士法改正に伴うカリキュラム等の改定、パネルディスカッション、サルコペニアについて